

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ ⑳

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見てください。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「日高の文化財」

日高地域は西に中国山地を頂き、東に円山川が流れ、その流域に国府平野が広がる自然豊かな地域です。その自然と地形を生かした文化財が多くあるのが特徴です。

日高地域を巡る

今から70～2万年前、神鍋山や大机山おおつくえやまなどから成る神鍋火山群から流れ出た溶岩は、稲葉川のある谷を埋め尽くし、冷え固まる間に、風穴や滝、また**栃本の溶岩瘤**いなんぼがわなど変幻自在の景観をつくり出しました。付近一帯は山陰海岸ジオパークの見どころの一つにもなっており、**神鍋山及び神鍋山溶岩流**(市指定天然記念物)としても指定されています。溶岩は「むし石」とも呼ばれ、古くから建物の石垣や石段、礎石などに使われてきました。**隆国寺石垣**は、総門から三門まで両側に神鍋溶岩が積み上げられ、寺院の風格を重厚なものにしています。

また、この付近は但馬地域で最も早くから人々が住み始めた場所としても知られ、**神鍋遺跡**では大量の土器とともに住居跡や貯蔵穴が見つかっています。

神鍋火山群を中心とした緑豊かな高原地帯には、17ヘクタールにもものぼる**栃が谷平のアスナロ群生**や、**天神社のトチノキ**、**万劫の大カツラ**(市指定天然記念物)などを有する自然林が広がっています。

但馬国府が移されたのは延暦23年(804年)のこと。近年の発掘調査で、**祢布ヶ森遺跡**が第二次但馬国府であると考えられるようになってきました。ここからは、但馬各郡の木簡、間違えながらも一生懸命「九九」を習った木簡が出土しています。但馬国府に近い場所に**但馬国分寺**・**国分尼寺**が造られ、この辺りは、但馬の中心地として栄えていました。

日高地域には、室町時代から戦国時代にかけて「山名四天王」といわれた垣屋氏の山城が数多くあります。佐田の標高307mに位置する**楽々前城**や、岩中の標高156mにある**宵田城**、**観音寺の鶴ヶ峰城**、**栗山の栗山城**などです。これらは、羽柴(のちの豊臣)秀吉軍によって落城させられましたが、今でも当時をしのばせる大規模な城跡が残っています。

※太字で記載している箇所は、これまでに紹介した文化財です。



▲稲穂が広がる国府平野



▲神鍋溶岩が露出する稲葉川



▲垣屋越中守家の居城 宵田城跡

【表紙写真】9月11日、三江小学校・幼稚園の秋季大運動会が三江小学校グラウンドで開催されました。今年は、保護者や地域の方の協力で校庭が芝生化された初めての運動会。児童・園児らは、色鮮やかな緑のじゅうたんの上で、伸び伸びと練習の成果を発揮していました。

発行／豊岡市
編集／政策調整部秘書広報課
07961231111
FAX 231124

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
竹野 ☎471111
出石 ☎523111
但馬 ☎542321000
日高 ☎110011